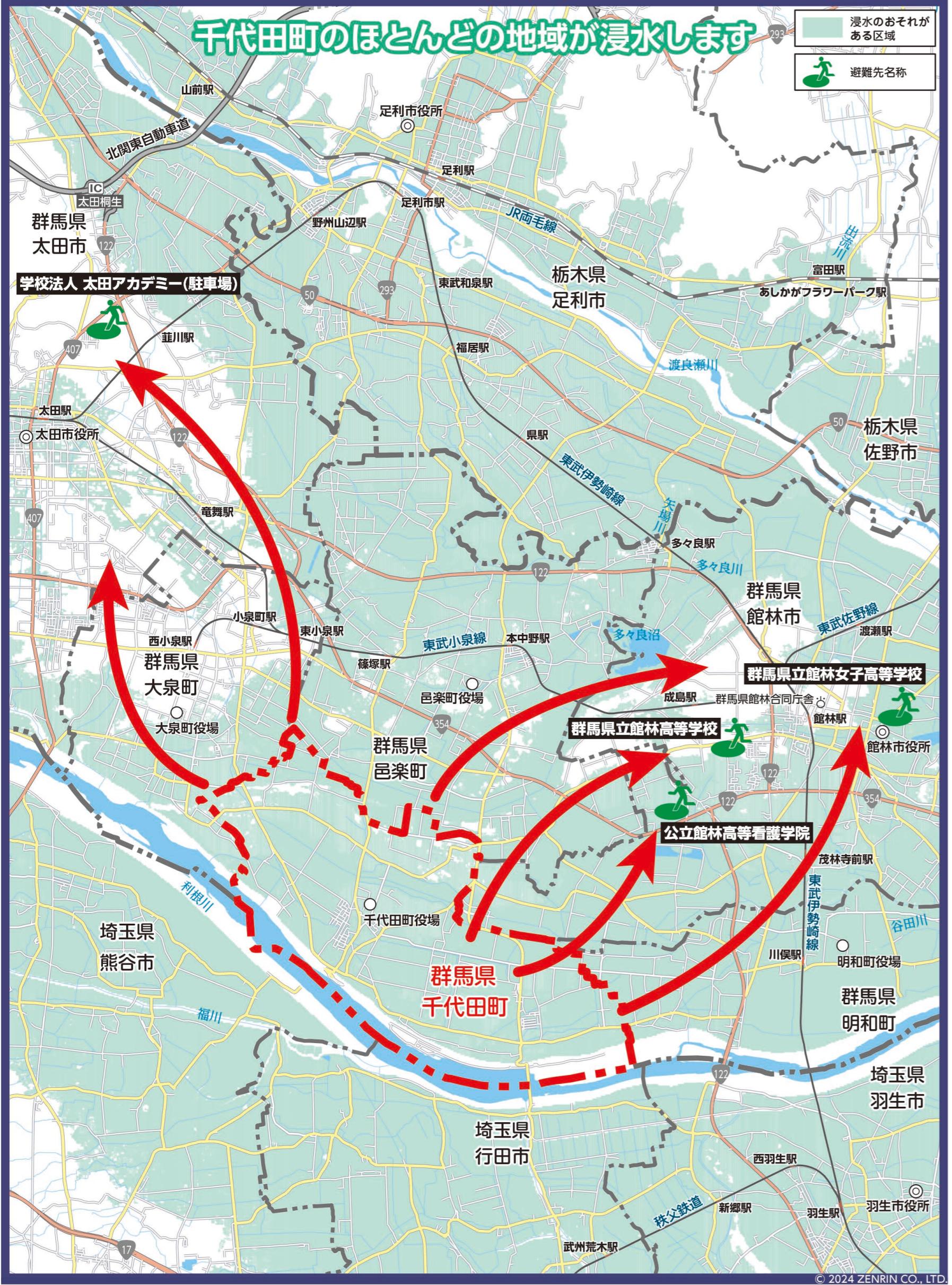


広域避難地図

避難情報の発令のタイミングで避難をすると、橋や主要道路で大渋滞が発生する恐れがあります。早めに避難しましょう。



避難の方法

避難時の行動

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けることです。普段からどう行動するか決めておきましょう。

行政が指定した避難先への立退き避難

- 自ら携行するもの
- スリッパ
- マスク
- 消毒液 など



こんな格好で
避難しよう



安全な親戚・知人宅への立退き避難

- 普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。
- ※地図で安全かどうか確認しましょう。



安全なホテル・旅館への立退き避難

- 通常の宿泊料が必要です。
- 事前に予約・確認しましょう。

※地図で安全かどうか確認しましょう。



屋内安全確保

- 地図で以下の「3つの条件」を確認し
自宅にいても大丈夫かを検討することが大事です。
- ※土砂災害の危険がある区域では立退き
避難が原則です。



この「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅にとどまり安全を確保することも可能です

- ① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
(入っていると・・・)



水の流れが速いと、
木造家屋は倒壊する
おそれがあります

地面が削られると家
屋は建物ごと崩落す
るおそれがあります

- ② 浸水深より居室は高い



- ③ 水が引くまで我慢でき、水・食料などの備えが十分
(十分じゃないと・・・)

水、食料、薬などの確保が困難になるほか、
電気、ガス、水道、トイレなどの使用
ができなくなるおそれがあります

